



問 家族風呂について

答 総合的な見直しが必要

に、平成14年度に家族風呂建設委員会が設置され検討が行われ、委員会では、設置に向けた一定の方向性が打ち出されたが、その後、三位一体改革による地方交付税の大幅な削減などにより財政状況が厳しさを増したこと

町長 アクアスは、健康福祉棟とあわせて、本町の健康づくり活動の拠点施設である。アクアスの家族風呂設置については、町民共有財産である大木町の温泉を利用したいすべての町民の方が利用できる施設としての活用を図ることを目的

問 障害を持つ家族、老夫婦、認知症の方が家族と一緒に入れる風呂、また家族全員で入れる風呂、プライバシーを守る風呂を最低でも2カ所設置してほしいという声がある。健康長寿のまちづくりを目指していく上にも、アクアスに家族風呂を設置すれば、多くのお年寄りから子供まで家族風呂を利用されるのではないかと。また、体の不自由な方々のために、アクアス温泉に家族風呂ができるようお願いしたい。

町長 これらについては、財政計画との整合性を十分考慮しつつ、総合的な検討が必要と考えている。

問 アクアスの家族風呂設置については平成14年度に家族風呂建設委員会で行われ一定の方向性が打ち出されたという報告があった。1、家族風呂建設委員会のメンバー構成は。2、一定の方向性はどのような結果になったか。

町長 手元に資料がないので、当時の家族風呂検討委員会の正式なメンバーは定かではないが、当時の議員、職員等のメンバーで構成されたというふうに認識している。結論としては、設置をするという前提で方向性を議論をされている。

町長 3、平成23年度から第5次大木町総合計画で主要事業として家族風呂整備事業が位置づけられている。今後、総合的な検討が必要というところを検討されるのか。

町長 廃オガ等を有効活用した栽培方法は「もったいない宣言」に合致したものであるし、地域の中で循環させることは大切な部分であると考えている。

町長 町営テニスコート周辺には雑草が生え、たまに柵を越えたボールを草むらに探すことになり危険な点も考えられる。以前は地元の方が除草していたが、現在は中学校の部活の先生が一部を草刈りされている。全部となればかなりの時間と労力が必要だが、この現状でよいのか。除草はだれがするのか。また、整地して駐車場にはできないのか伺う。

町長 東側は現在、泥土が積まれていて、雑草も非常に刈りにくい状況になっている。泥土が積まれている部分は、草刈りもやりにくいので、その泥土の除去等を行い整地を行っていきたい。

町長 町としても、町有地や町有施設の管理を適切に行う責務があるため、テニスコートの利用者には不便をきたすことのないよう、必要に応じて雑草の刈り取りなどの作業を行っていく。

町長 駐車場の整備については、必ずしも不足している状況ではないと認識しているが、テニスコートの周辺地の有効活用の方については、今後検討していきたい。

町長 駐車場の不足の状況ではないとのことだが、整地については、東側の空き地が今現在、雑草が生い茂っている。その中にはフェンスの下に溝があり、ボールが飛んできてその溝にはまったりすれば大変危険である。



問 るんるんベンチ普及拡大支援を

答 普及センター・JAと連携し情報提供から進める

町長 この方式は安価かつ自作で簡単に設置でき、また培地の量が多く、元肥施用方式であることから、高度な技術を要する培養液管理を行わない方法で、さらに収量も土耕に比べ劣らないとの評価も聞いている。また、現在、県の補助事業である高収

町長 町営テニスコート周辺には雑草が生え、たまに柵を越えたボールを草むらに探すことになり危険な点も考えられる。以前は地元の方が除草していたが、現在は中学校の部活の先生が一部を草刈りされている。全部となればかなりの時間と労力が必要だが、この現状でよいのか。除草はだれがするのか。また、整地して駐車場にはできないのか伺う。

町長 町としても、町有地や町有施設の管理を適切に行う責務があるため、テニスコートの利用者には不便をきたすことのないよう、必要に応じて雑草の刈り取りなどの作業を行っていく。

町長 駐車場の不足の状況ではないとのことだが、整地については、東側の空き地が今現在、雑草が生い茂っている。その中にはフェンスの下に溝があり、ボールが飛んできてその溝にはまったりすれば大変危険である。

町長 駐車場の整備については、必ずしも不足している状況ではないと認識しているが、テニスコートの周辺地の有効活用の方については、今後検討していきたい。

町長 駐車場の不足の状況ではないとのことだが、整地については、東側の空き地が今現在、雑草が生い茂っている。その中にはフェンスの下に溝があり、ボールが飛んできてその溝にはまったりすれば大変危険である。

町長 町としても、町有地や町有施設の管理を適切に行う責務があるため、テニスコートの利用者には不便をきたすことのないよう、必要に応じて雑草の刈り取りなどの作業を行っていく。

町長 駐車場の整備については、必ずしも不足している状況ではないと認識しているが、テニスコートの周辺地の有効活用の方については、今後検討していきたい。

町長 駐車場の不足の状況ではないとのことだが、整地については、東側の空き地が今現在、雑草が生い茂っている。その中にはフェンスの下に溝があり、ボールが飛んできてその溝にはまったりすれば大変危険である。

町長 町としても、町有地や町有施設の管理を適切に行う責務があるため、テニスコートの利用者には不便をきたすことのないよう、必要に応じて雑草の刈り取りなどの作業を行っていく。

町長 駐車場の整備については、必ずしも不足している状況ではないと認識しているが、テニスコートの周辺地の有効活用の方については、今後検討していきたい。

町長 駐車場の不足の状況ではないとのことだが、整地については、東側の空き地が今現在、雑草が生い茂っている。その中にはフェンスの下に溝があり、ボールが飛んできてその溝にはまったりすれば大変危険である。

問 るんるんベンチ高設栽培は簡単な構造のため、業者を使わず自分で建設でき、また当初の培土はもみ殻主体で、町内のエノキ、シメジの廃棄されたものを混ぜるため、有効活用ができる利点もある。幾多ある高設栽培の中でも、ベンチの中に入れる土の量が多いため、多くの収量があり、イチゴの色が非常にきれいで、さらにイチゴがぶら下がっているので清潔また日もち、棚もちにすぐれている。

町長 本町のいちご農家では高齢化が進んでいるが、農作業の負担軽減を図られる栽培方式の導入を促進することは、産地の活性化を図る上で有効な方策の一つと考えられる。るんるんベンチについては、普及センターやJAとも連携して、既に導入した農家における状況の情報収集や導入に際しての課題整理などを行い、これを用いた栽培技術の確立・向上を図るとともに、未導入の農家に対する情報提供などに取り組みんでいく。



町長 町としても、町有地や町有施設の管理を適切に行う責務があるため、テニスコートの利用者には不便をきたすことのないよう、必要に応じて雑草の刈り取りなどの作業を行っていく。

